

No.	対象箇所			担当課	対応	意見に対する考え方	対応	
	基本計画総論	章番号	項目番号				修正前	修正後
	基本計画各論	小分野	細分野・項目					
	基本計画各論	531 農業	① 現状と課題	農林課	修正	文言修正しました。	<p>■2段落目以降</p> <p>また、担い手の高齢化や後継者不足と有害鳥獣の急激な増加による農作物被害等により、耕作意欲が低下することも遊休農地の増加の要因となっています。</p> <p>そのため、地域の資源と知恵を活かし魅力と活力あふれるまちを目指すため、農地の保全をすべく農業振興においてのさまざまな取組を行っています。</p> <p>地形的・規模的に不利な農地条件であるにもかかわらず、新規就農者の支援に取り組んできた結果、新規就農者の確保が進み、安定した農業経営をされている方も出てきました。</p> <p>今後も、兼業・専業にとらわれない新規就農者を含めた農業者や企業等の新規参入が必要です。</p> <p>有害鳥獣の被害については、年によっては差があるものの依然多い状況であるため、引き続き農業者等に対しての支援を行うとともに、集落（農業者・自治会）と行政の協創による対策が必要です。</p>	<p>■2段落目以降</p> <p>また、担い手の高齢化や後継者不足と、有害鳥獣の急激な増加に伴う農作物被害等により、耕作意欲が低下することも遊休農地の増加の要因となっています。</p> <p>そのため、大都市近郊農業が有する多面的機能を十分に発揮できるように、農地を保全すべく農業振興の様々な取組を行っています。</p> <p>新規就農者の支援に取り組んできた結果、地形的・規模的に不利な農地条件であるにもかかわらず、新規就農者の確保が進み、安定した農業経営をされている方も現れてきました。</p> <p>今後も、兼業・専業にとらわれない新規就農者を含めた農業者や企業等の新規参入が必要です。また、有害鳥獣の被害については、年によって程度の差はあるものの依然として多い状況であるため、引き続き農業者等に対しての支援を行うとともに、集落（農業者・自治会）と行政の協創による対策が必要です。</p>